

友愛

Y U A I

103

平成23年8月1日発行

特集「ボランティア活動で
地域貢献を！」

特集「東日本大震災への
積極的な支援活動を展開。」

- ふれあい通信
- スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

ボランティア活動で地域貢献を!

「日頃からお世話になっている地域の皆さんへ、恩返しとして何か地域貢献ができないか」。北海道友愛福祉会が行っている地域ボランティアは、この中田理事長の想いに賛同した職員有志の活動からスタートしました。



田代美恵子さん 86歳



となった田代さんを今後も見守りたいと話合っていました。その結果、独自のアフターケアとして、電話サービスと毎月の訪問ケアを行うことに決めました。

毎日の電話サービスと毎月の訪問サービスへ。

電話サービスは毎日朝夕の2回、所在や体調の確認のため電話で10分ほどお話しをします。「足の調子はどう?」「今日の夕食はなにを食べるの?」など、電話を通して暮らし振りがうかがえ、なにより田代さんも会話を楽しみにされている様子。さらに、月1~2回、スタッフ4~5名がご自宅を訪問。掃除、洗濯、買い



今年じゃがいもが豊作です。

物など、一人暮らしをするために必要な環境作りを支援します。「畑の種まきから、草取り、収穫まで、すべてやってくれます。以前は、主人と二人でやっていた畑ですが、いまは私だけですのでとてもできません。皆さんが来てくれたおかげで畑が続けられ、収穫の楽しみも味わえます。」と田代さん。そこで収穫した一部は静苑ホームでの収穫祭として振る舞われ、「田代さんのカボチャのお団子はおいしいね!」と入居者からも好評です。

「地域ボランティアは、むしろ、我々の方が元気をもらっていることが多くそれがやり甲斐になっています」と石田さん。当初は一部のスタッフから始まったボランティア活動でしたが、友愛福祉会全体のフレンド・アイに組み込まれることで、地域の社会活動として定着しつつあります。「いま無縁社会などと言われていますが、地域での見守りやふれ合いを通して、暮らしやすい地域社会の実現へ向かえばいいなと思っています。」

そのためには友愛福祉会にとっての地域ボランティアの位置付けは大

ケアプランに組み込まれるボランティア活動。

平成21年から静苑ホームが行っている、江別市在住の田代美恵子さん(86歳)へのボランティア活動。職員の自発的なボランティアから始まり、その後、継続的な活動とすべく、北海道友愛福祉会で取り組む地域ボランティアの「フレンド・アイ」として、内容の充実を図ってきました。現在はこのボランティア活動が、田代さんへの正式なケアプランに取り入れられるなど、全国的にも稀なケースとして注目されています。「ケアプランの大半は有料の介護保険でまかなわれますが、無料のボランティアの活動が組み込まれることはほとんどありません。よりきめ細かくて精度の高いケアプランが可能になると、ケアマネージャーからも高く評価されています」とリーダーの石田康司さん。

退所後も見守りを続けるボランティアへ。

平成20年1月、田代美恵子さんは体調の悪化から江別市立病院に約2ヶ月入院し、その後、静苑ホームに入所しました。入所から数ヶ月後に



軽い食事は自分でつくります。



大きく、静苑ホームのスタッフ有志は新たに近隣公園の小石拾いなどのゴミ清掃を始めています。すると予想外にも、「子どものためになるなら、私たちも参加したい!」と、入居者のお年寄りも参加されるようになりました。なかには車椅子に乗りながらも火ばさみで清掃に参加する入居者も出てきました。お年寄りにとって心身共にリハビリ効果がありそうです。入居者も参加する新しいボランティア活動として、さらなる地域貢献への可能性が広がっています。

フレンド・アイとは

北海道友愛福祉会の職員有志によるボランティア活動の名称。平成14年、地域に貢献したいとの想いと共に、当法人が多くのボランティアに支えられていることへの感謝の気持ちから始まりました。主な取り組みとして、独居高齢者宅の窓拭きや冬の除雪、さらには公共施設(公園等)の清掃など、現在、友愛福祉会の全法人から約300名が自主的に参加しています。

主なフレンド・アイの内容

- ・電話サービス(悩みごと相談と安否確認)
- ・在宅高齢者宅の窓拭き(独居、夫婦二人世帯対象)
- ・訪問サービス(介護保険サービス対象外の「草刈り」「除雪」など)

訪問ボランティアの様子

「畑作業」



スタッフが訪問し、畑の雑草取りやマメのツル張りなどの畑作業へ。ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシなど、7~8種類の野菜を育てています。

「家事」



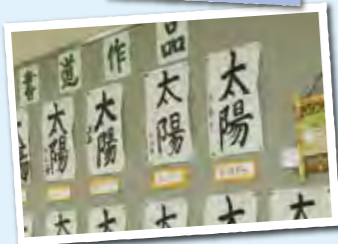
部屋の掃除機がけやトイレ掃除、さらにはカーテンの洗濯、冬場の除雪など、お年寄りの一人暮らしをサポートします。

「会話」



何気ない日常の世間話から、日頃の暮らしぶりや健康状態などを確認。次回訪問の際の課題や企画へと生かします。

「趣味」



趣味の習字を楽しみにしている田代さん。週2回のリハビリは、習字のある曜日に合わせて通っています。

恵明園の陶芸『長寿焼』です!!

恵明園



視覚に障がいをお持ちのご利用者が心を込めてつくる陶芸『長寿焼』。恵明園で昭和57年から続くこの活動は徐々に広がり、今では地域祭事である江別やきもの市やふれあい広場に毎年出品しています。皆さんも温もりと暖かみのある『長寿焼』を手にとってみませんか？

事務所が中央町に移転しました

7丁目通沿い、三番通と四番通の間で、「ふれあう心あふれる笑顔」の大きな看板が目印です。介護のことをはじめ、住み慣れた地域で安心して暮らすための様々な相談の窓口です。お気軽にご相談ください。



野幌第一
地域包括支援センター



新役員
決定

理事長に中田 清氏を選出
常務理事は笠羽 範夫氏

社会福祉法人北海道友愛福祉社会は任期満了に伴い、去る平成二十三年三月二十八日開催の第七十六回評議員会並びに第百七十七回理事会において理事、監事、評議員を選出、平成二十三年四月六日から向こう二年間の新役員が次のとおり決定致しました。

また、中田清氏が理事長に、笠羽範夫氏が常務理事に選任されました。

児童福祉、高齢者福祉、医療、保健サービスの拠点として、地域の期待に応えることはもとより、人権を尊重し、充実した生活支援と高品質なサービスの提供を目指し、より一層、機能の強化を図っていくうえで今後の法人の役割に期待が高まります。

評議員 宮内 清 (七月一日就任)	評議員 佐藤 泉明 新任	評議員 佐々木 貞雄 再任	評議員 後藤 一昭 再任	評議員 藤原 敏雄 再任	評議員 湯浅 國勝 再任	評議員 中山 勝弘 再任	評議員 笠羽 範夫 再任	評議員 中田 清 再任	評議員 中田 清 再任	評議員 知野 辰男 新任	評議員 村中 英雄 新任	評議員 福田 三行 再任	評議員 神 勝伸 再任	評議員 佐々木 修司 再任	評議員 佐藤 信行 再任	評議員 大森 和子 再任	評議員 安藤 妙子 再任	評議員 長谷川 一人 再任	監事 石橋 文子 再任	監事 女屋 龍紘 再任
-------------------------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------	-------------------	-------------------

愛保育園

水遊びが始まりました!



水遊びが大好きな子ども達☆
園庭にプールを出したり、噴水のある公園までお散歩に行き、思いっきり水遊びを楽しんでいます。子ども達のはしゃぐ声が響き渡っていますよ!

ケアハウス
ゆうあい

私たちの出番です!!



さあ～花の季節がやって参りました!
『庭は私たちにおまかせよ!』
おかげでケアハウスの庭はいつもすっきり、
きれいなお花でいっぱい。
ありがとう! だけど・あんまり無理しないでね。

ふれあい通信

北海道友愛福祉社会と利用者の皆さんの日々のふれあいを、あふれる笑顔の写真と一緒にご紹介します。

サービスセンター
友愛野幌

『私の楽しみ!』



皆さんに外出行事の希望を伺うと個人的な意見が多くあり、それならば皆さんの意見を尊重し思い思いのお出かけを楽しんできました。あやめ公園や札幌ドーム・北海道開拓の村など、観光名所を訪ね、「来年はどこに行く?」と話しながら「外出するためにも足腰を鍛えようね!」と、皆さんの思いもひとつになったようです。



東日本大震災に際しても迅速に対応。

災害の爪痕が生々しい4月上旬、全国老協協会会長である当友愛福祉会の中田理事長が被災地を慰問。言葉を失う凄惨な被害状況をつぶさに把握し、現地の要望に的確に応える支援体制を構築すべく奔走しました。

東日本大震災への積極的な支援活動を展開。

北海道友愛福祉会は過去2回の水害に遭い、その際、全国から多くの支援と励ましを受けました。「その時の恩返し」との思いから、その後の災害時には積極的な支援を行っています。

地域福祉の拠点として機能を認識。

地域の介護拠点としてあるいは要援護者の避難所として、特養ホームの重要な役割を再認識。そうした機能を充実させるなど、「東北地方の高齢者福祉の再生からそのモデルケースを発信すべき」と、新たな目標へ。



被災地のお年寄りを一人でも助けたい。

施設の迅速な受け入れ対応により、5月1日に入所した高橋夫妻。



「困っている人に、手をさしのべよう」。

職員から自発的にはじまった義援金のカンパは、ごく自然に職員福利厚生会や友愛福祉会全体へと広がり総額250万円を超える額となりました。また、仙台市の盲養護老人ホームからの要請に応え、洗濯機やタオル、衣類を現地へ緊急発送するほか、被災地である仙台市と福島市の2つの施設に3名の職員を派遣。多くの皆さんに感謝されると共に、現地に行かなければ分らない事情や今後に向けた貴重な体験も得られました。さらに、震災から2カ月後には、石巻市で被災されたご夫婦が当法人へ入所されました。

このような今回の東日本大震災への迅速な対応は、昭和50年と56年に水害に見まわられた際の経験から生かされた結果といえます。災害時には「困っている人に、まず出ることから、手をさしのべよう」という、これまで培った職員ひとりひとりの意識が支えとなったもので、今後の災害支援へと継続されることでしょう。



被災地施設を訪れて
5/19~8/30

東日本大震災の惨状を知るにつけ、「介護士として何かに立てないか?」(戸子臺)、「現地に行つて手伝いたい」と妻と話していた(松本)という2人

は、北海道老人福祉施設協議会の災害ボランティアに早速応募。仙台市青葉区の特別養護老人ホームに向かったのは、震災の約2カ月後でした。現地では、大きな被害を受けた南三陸町からの被災者3人の生活支援を担当。被災者のみなさんにどう言葉かければいいのか不安でしたが、力強く生きる姿に逆に元気をもらおうという体験をしました。



みんなが支え合っている姿を目の当たりにして、自然と自分たちもあたたかい気持ちになっていきました。

松本 康史 (介護士/静苑ホーム勤務)
戸子臺 章 (副主任介護士/静苑ホーム勤務)
派遣先施設/特別養護老人ホーム仙台桑生園(宮城県仙台市)



被災地施設を訪れて
5/28~2/27

長谷川みちよ (主任介護士/恵明園勤務)
派遣先施設/盲養護老人ホーム緑光園(福島県福島市)

介護の専門施設として、災害時の対応をしっかりと確立しておくことの大切さを感じました。

長谷川さんが向かったのは、福島県福島市の50床の盲養護老人ホームで、福島原発からの避難者13名が新たに入居してました。東京から来たもうひとりのボランティアと交代で夜勤を担当。「わざわざ北海道から来たの?と驚かれましたが、誰かが来てくれ、気にかけてくれることが励みになるんですね。また、震災当初は電気やガスなどのライフラインがストップ。非常時用品の備えがあるからと安心するのではなく、どんなに些細なことでも事前に試しておくコミュニケーションの大切さも実感しました。



施設でのその後

江別で避難生活をおくる高橋さんご夫婦。

「地震から約10分後に津波が押し寄せ、一瞬、家が持ち上がったと思ったら、そのまま流されてしまいました。石巻市北上町で東日本大震災に遭い、なんとか高台に避難し九死に一生を得た高橋さんご夫婦。江別在住の娘さんのついで、今朝雄さんはケアハウスゆうあいに、小菊さんは静苑ホームに入所されています。「ここでは足の不自由な妻をしっかりと診てくれ、お風呂にも入れてくれるなど、本当に助かります」と今朝雄さん。要介護度の違いから一緒に施設内に暮らすことはできませんが、同じ敷地内にいるため、1日に何度も小菊さんの部屋を訪れます。



高橋今朝雄さん 86歳 (ケアハウスゆうあいに入所)
小菊さん 85歳 (静苑ホームに入所)

スタッフ エッセイ

愛保育園勤続5年目になる池野礼枝です。
この夏結婚し、佐伯になります。
宜しくお願いします(^o^)

フラワーアレンジメントや着付け教室に通い、楽しい日々を過ごしています。これからの時季、お祭りや花火大会など浴衣を着て出掛けるには最適ですね！今年も着物や浴衣を着て、たくさんお出掛けしていきます♪



愛保育園 池野 礼枝

私は4月に行われたバドミントンの全道予選にて準優勝をし、6月29日より石川県にて行われた全国大会に行ってきました！結果はといえば予選リーグ2位で予選敗退という悔しい結果に終わりましたが、小学3年生から始めたバドミントンを今も続けられていること、そして、職場の方々の協力のもと大会に出場させて頂けたことに感謝の思いでいっぱいです。今後の目標として、まずは全道予選での優勝を目指して頑張ります！！

静苑ホーム 田中 美雪



「みんなの笑顔がみたいから」を合言葉に結成した鳴子チームYOU愛で踊り続けて、今年で16年目になります。地域で開催される「えべつ北海鳴子まつり」にむけて、週2回の練習に励んでいます。今年の目標は、ズバリ!大賞受賞!!ではなく、仲間と楽しく踊りきること!!!見に来てくださる皆さんに喜んでもらえるように今年も精一杯踊ります!!

「ソイヤ!!!」

友愛ナーシングホーム 通所リハビリ 紺野 幸子



ボランティアを始めてから10年になります。今は病院のボランティアと、地域での歌の集いに参加しています。

先日75歳の方からのお便りを頂きました。「ふれあい広場であなたの歌を聞いて、うつむいていた私の心が癒されました」と。人生の先輩の方からこのような言葉をいただき、癒されるのはむしろ私の方なのです。ボランティアは心のキャッチボールです。ボランティアを通してできる、人との関わりからいつも絆が生まれ、その絆は私にとって大切な宝物となっています。

デイサービスセンター友愛江別 佐藤 良博



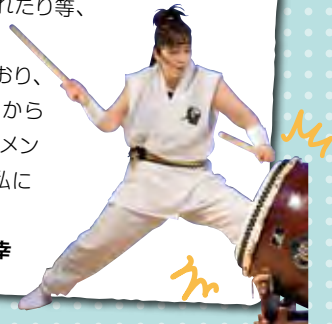
十年一昔と言いますが、ケアハウスゆうあいに勤務させていただいて、今年でなんと10年目! ああ...あの頃はまだ若かった...。先日、久々にバレーボールの練習に参加したところ、スローモーションのような自分の動きに泣き笑い。振り向けない...追いつけない...跳んだつもり...もう開き直ってこれからは楽しく笑えるバレー?が出来ればいいのだ!なんて、強がり言いながらも体力・記憶力の衰えを深く実感している今日この頃でした。

ケアハウスゆうあい 酒田 幸代



「江別見晴台鼓楽会豊太鼓」で代表をさせてもらっています。年に20~30回発表する場面があり、旧厚生年金会館や当法人の夏祭りでも披露させて頂きました。演奏に感動してくれたり、耳の不自由な方が振動で太鼓を楽しんでくれたり等、太鼓はやめられないです！現在総勢50名程度のメンバーでやっており、随時メンバーを募集しています。幼児から100歳ぐらいまでの方であれば誰でもメンバーになれますので、興味のある方は私に声をかけてください。

デイサービスセンター友愛野幌 谷口 美幸



社会福祉法人
北海道友愛福祉会
<http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム
短期入所生活介護

静苑ホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

友愛野幌

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

●通所介護

●訪問介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

児童福祉施設

愛保育園

〒069-0812 江別市幸町8番地の9
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護
ヘルパーステーション

恵明園

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

友愛江別

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598

●通所介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

軽費老人ホーム

ケアハウスゆうあい

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護
通所リハビリテーション・居宅介護支援

友愛ナーシングホーム

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業

野幌第一地域包括支援センター

〒069-0801 江別市中央町31番地の6
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941

●介護予防支援